

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：石塚委員

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第4回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和5年9月6日(水) 13:30 ~ 15:30				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員 (部会長：志村 陽子) <敬称略>				
	山内 京子	蛭子 明子	福田 美和	栗田 修平	生駒 友一
	宇田尻 浩司	近藤 博子	西條 由美子	棧敷 洋子	小池 美津代
	窪田 千亜紀	石塚 由江			
	事務局：森合 美穂、秋山 仁志、檜山 咲紀、江川 奈保美、堀内 蘭				
<p>1 連絡・確認事項</p> <p>(1) 司会・書記の確認 (司会：山内委員、書記：石塚委員)</p> <p>(2) 参加者・配付資料の確認 欠席者：名川会長、一色委員、北畠委員</p> <p>2 前回専門部会の振返り</p> <p>(1) 第3回専門部会の議事録・ご意見カード集約</p> <p>(ア) 議事録について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の専門部会にて委員から、地域の防災訓練に参加された際に今後の参加についてはお断りというようなことがあった件については、事務局としても担当部署へ伝える予定である。 ・ この件については志村部会長が参加する「防災会議」にて、合理的配慮や差別解消という面から話題提供を考えている。 <p>(イ) ご意見カードの集約について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「アパート探しで精神障害のある方が断られる理由がわからなかった」というご意見カードの記述に対し、事務局から補足説明。 →精神障害のある方だけではなく、高齢者の一人暮らしの方、知的の障害のある方でも、保証人がいない場合は、過去の住民トラブルなどの経験から不動産屋さんや大家さんから断られることが多い。 <p>3 議題</p> <p>(1) まちあるきの実施に向けて</p> <p>第5回専門部会(日時：11月1日(水)13:30~15:30)にて、防災まちあるきを実施する。</p> <p>(ア) まちあるきの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年前に防災・あんしん部会にて、障がい者総合サポートセンター周辺の「防災まちあるき」を実施した。その際に、「普段の生活圏や避難経路などにおいて、災害時に特に注意が必要な場所や資源になりそうな場所を見つけ、いろいろな方が安全に周囲を移動できるよう、あらかじめ把握し地図に落とし込み見える化しておく。そうすることで、問題点を共有し事前に対応を考えることができる」ことを目的としており、今回も同様に目的で実施する。 ・ “災害時に注意しなければならないこと”として「一般的な注意事項」と「障害による注意事項」をリスト化しているため、まちあるきの際に注視してほしい。 ・ 災害時に活用できるもの、公衆電話を使うためには何が必要？消火栓や非常用の水源、土嚢などの位置、安全に休憩できる場所はどこ？などと、他にも想像力をかきたてながら、色々な気づきを得ることが狙いである。 					

(イ) まちあるきグループ (案)

- ・ 事務局から「まちあるきグループ (案)」を提示。それぞれのグループは、委員と事務局、さらに可能であれば外部 (福祉管理課、社会福祉協議会など) の関係者の参加を想定した、6～7人の構成となっている。
- ・ 今回のまちあるきの地区は、①さぼーとぴあ、②志茂田福祉センター、③のぞみ園 (つばさホーム)、④上池台障害者福祉会館、⑤久が原福祉園の5カ所を想定。
- ・ 本日の後半は、グループごとに分かれ、歩く人数のことや5つの拠点のうちどこを選択するのか、外部の方の参加を福祉管理課、社会福祉協議会の他に町会、自治会、民生委員、警察・消防の方などをお願いするかなどについて検討する。
- ・ グループのリーダーは、事務局から指定している。グループごとの話し合いでも意見をとりまとめをお願いする。

4 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

(ア) 志村部会長から

- ・ 9月4日 (月) 第4回運営会議を開催した。運営会議では、10月2日 (月) に開催予定の「全体交流会」の内容について検討を行った。昨年度、防災・あんしん部会で実施した「あんしんカフェ」を参考に、今回は「“あんしん” ってなに？」という大きなテーマで、意見交換をすることでお互いの交流に繋げることが決まった。大田区自立支援協議会全体のつながり、顔の見える関係づくり、本会とは、専門部会の役割を意識できるきっかけになればと思う。現在、3つの専門部会が目指していることや活動内容をまとめた「自立支援協議会だより」を作成している。読んでいただき、ぜひみなさんに全体交流会に参加してほしい。防災・あんしん部会は、毎月第一水曜日に開催しているので、10月の部会は全体交流会の参加をもって、部会に代えたいと思う。今後、検討していく「あんしんカフェ」のさらなる一歩となる材料集めにもなると思うので、アンテナを立てながら参加してほしい。
- ・ 大田区自立支援協議会の名川会長から情報提供がある。9月1日に配信された「47ニュース」の記事に、医療的ケア児の災害時の対応事例を紹介されている。併せて記事には「災害時対応ガイドブック」を作成している自治体の紹介がある。国土交通省や子ども家庭庁等の関係省庁との関りがあり、自治体だけでの取組は難しい部分があることが現状である。
- ・ 数年前に自立支援協議会での研修にて講師をしていただいた跡見学園女子大学教授の鍵屋先生が9月1日に「災害福祉フォーラム」を立ち上げられた。この日、設立記念シンポジウムがハイブリッド形式で開催され、「防災は愛である。この災害福祉フォーラムは、みんながつながり合っていく道場だ」との冒頭の鍵屋先生の挨拶が印象的だった。はじめに、同志社大学社会学部教授の立木先生が「災害も視野に入れた全天候型のソーシャルワークの課題と展望」というテーマで基調講演をされた。平時に福祉専門職が「サービス等利用計画」を作成すると同時に、「災害時ケアプラン」をあらかじめ作成しておくことが重要であり、災害発生時の「災害ケースマネジメント」と相関関係にあることなどを話された。パネルディスカッションでは、文教大学教授の大島氏がコーディネーターとなり、被災者支援のNPO法人レスキューストックヤードの浦野氏や一般社団法人ピースボート災害支援センターの辛島氏、郡山女子大学准教授で (一社) 福島県社会福祉会会長の島野氏、地域の活動をしている(株)ぐるんとびーの菅原氏ら4名の災害福祉の最前線で活躍されている方々がシンポジストとして、それぞれの立場から意見交換がされていた。
- ・ 「まわしよみ新聞のワークショップ」について紹介。新聞を読んで気になる記事を持ち寄り、どうしてその記事が気になったのかをお互いに話し合い、最後に各々が気になった記事でかべ新聞を作るという取り組みである。ただおしゃべりをするだけではなく、考え方や意識の持ち方などお互いに堅苦しくなく共有し合うことができるという特徴があり、視覚的、聴覚的に障害のある方の情報の取り方について、あんしんカフェの場であれば、話をしやすいのではと感じた。

(イ) 事務局から

「全体交流会」のお知らせを事務局から連絡。昨年度の交流会は、今年度は一つの「安心」というテーマで、自分にとっての安心について、どんな連携をとれたら安心するのかなど、当事者の方、ご家族の方、支援者の方がそれぞれの立場で意見交換することで、つながりあう場になればよいと思っている。

(ウ) 委員から

- ・ リカバリーカレッジおおた第12回講座「池上のまちを探検トウギャザー」の開催について。主催は、リカバリーカレッジおおた、おおた社会福祉士会が協力をした。リカバリーカレッジは、その人一人ひとりに起こるリカバリー（回復）について学び、これからの人生を豊かに生きていくための工夫を学び合っていく場。「まち探検」は防災のまちあるきとは異なり、自分の五感を使って、グループメンバーとの交流を通して、一緒に学び合う企画。
- ・ (一社) 日本小児神経学会が災害時でも障害のある子どもたちが安全・安心に過ごせるように、ふだん通学する特別支援学校を通学する児童生徒を優先した「子どものための指定福祉避難所」として利用できるように、また、福祉避難所に直接避難できるように人材の確保などを求める要望書を日本小児神経学会の理事と障害のある子どもの団体が9月1日に文部科学省を訪れ、要望書を提出した。

(エ) その他

- ・ 9月1日のおおた区報に掲載されていた「区内19か所の救護所」とはどこのことを言っているのか。
⇒即答できる情報がないため、調べて次回のときにお知らせする。

5 当日のグループの打ち合わせ

(ア) 天候によるまちあるきの開催判断について

- ・ 前日の10月31日の昼12時の時点の天気予報で、翌日の降水確率が60%以上の場合、まちあるきは中止となる。事務局から各委員にメールで連絡する。中止になった場合、11月1日は通常の会議になる。まちあるきは、12月に延期となる。

(イ) 各グループの拠点場所、まちあるきのルートなど

グループ	拠点場所	まちあるきルート	外部の方の同行希望
A	志茂田福祉センター	志茂田福祉センター⇒志茂田中学校⇒志茂田小学校 ⇒西六郷公園⇒西六郷小学校⇒西一中央児童公園 ⇒志茂田福祉センター	・ 地域福祉課 ・ 社協 地域福祉コーディネーター
B	のぞみ園	のぞみ園⇒大森南一丁目アパート⇒(海の方角へ) ⇒森ヶ崎公園⇒大森第四小学校⇒のぞみ園	・ 自治会 ・ 社協 地域福祉コーディネーター
C	サポートセンター	サポートセンター⇒入新井第一小学校⇒大森第八中学校 ⇒大田区山王会館⇒サポートセンター	・ 新井宿自治会連合会 鈴木 英明会長
D	久が原福祉園	久が原福祉園⇒松仙小学校⇒(新幹線高架下)⇒ 雪谷中学校⇒久が原福祉園	・ 社協 ・ 特別出張所

※次回の日程

交流会：令和5年10月2日(月)10時～12時 さぼーとぴあA棟5階多目的室

作業部会：令和5年10月23日(月)10時30分～ 各グループのリーダーと事務局のWeb会議

専門部会：令和5年11月1日(水)13時30分～15時30分 まちあるき